

NPO鳴門「第九」を歌う会だより

“友よ”

リーバー フロイント

# Lieber Freund

vol.10

発行：NPO法人 鳴門「第九」を歌う会事務局  
TEL 088-686-9999 FAX 088-686-9994  
http://www.tv-naruto.ne.jp/daiku/ E-mail: naruto\_daiku@yahoo.co.jp

2010年7月31日発行



昨年に引き続きの二日公演。  
運営はたいへんでしたが  
感動もしっかり二日分  
味わいました!

神田先生の指揮はダイナミック。体からほとばしる  
エネルギーにひきこまれて熱唱しました

## ごあいさつ

今、全国的な豪雨のニュースに心痛めているところですが、第九を愛する県内外の皆様には、お健やかに過ごしてごさいませうか。

第29回「鳴門第九演奏会」並びに「アリアと第九の祭典」にご出演の皆様、大変ご苦労様でございました。

昨年11月、初心者の方からスタートを切った第九の練習では、先生方の熱い御指導のもと、8ヶ月にわたってご熱心に参加され、晴れの舞台を迎えられました。

また、全国からは北海道より鹿児島まで、遠くはロサンゼルスから、ご遠路はるばる鳴門での歓喜の大合唱の輪に加わってくださり、心よりお礼申し上げます。

さらに、第九成功の陰には、おもてなしの心で、裏方を支えてくださった多くのボランティアの方々の存在を忘れることが出来ません。本当にありがとうございました。

いよいよ、来年は、記念すべき第30回演奏会を迎えます。記念演奏会には著名な指揮者やソリストをお迎えするやり方もありますが、昨年からは始まったオーディションによる全国公募のソリストの登用を、より充実したものにして、どこにもない鳴門らしさをアピールすること、全国の皆様を温かくお迎えするとともに、第1回の原点に帰って、県内・地元の多くの方が「第九初演の地」としての大切な文化遺産継承者になっていただけるような演奏会になれば、とご期待申し上げます。

最後になりましたが、これまで、鳴門の第九を温かく見守り、物心両面で応援してくださった関係者の皆様に心より御礼申し上げます。これからも、鳴門の「第九」が、多くの皆様に愛され、歌い継がれますように祈念いたしまして、ごあいさつといたします。

(NPO法人 鳴門「第九」を歌う会理事長 大塚 道子)



## ようこそ! ロサンゼルス第九仲間

今年の公演には、アメリカ・ロサンゼルスからの団体参加がありました。「第九」と聞けば、日本全国はもちろん、ドイツに中国に……と歌いにかけてくれる私達ですが、「鳴門の第九も国際的になったなあ…」と感慨深いものがあります

今回参加されたのは「L.A.第九を歌う会(L.A.Daiku)」(棚野泰全 理事長)の皆さんです。昨年7月にロサンゼルスのウォルト・ディズニー・コンサートホールで開催された第九演奏会に合唱で参加した日系人、在住日本人の有志によって結成されました。ハリウッド日本文化研究所を拠点に週一回の練習を重ね、アメリカ国内での演奏会に参加したり、合唱講習会を企画・開催したりと、精力的に活動をされています。

今回はソプラノ2、アルト4、テナー2、バス4の計12名が参加。2公演とも歌い、もちろん交流会にも参加、合間には鳴門市ドイツ館を訪ねたりと、ハードながらも充実した日程を過ごされました。「世界一の第九の国・日本」、なかでも、第九初演の地・鳴門への里帰りはいかがでしたか?



交流会でもひととき大きな声援を浴びていました。テノールソリスト・米澤さんと記念撮影

### L.A.Daiku 理事長 棚野 泰全さん

鳴門第九は、準備期間を含めてほぼ9ヶ月近く鳴門側と交信しました。海外からの参加ということで当初より好意的に主催者側から見ていただけたことは、大変光栄でした。個人的には演奏会の出来よりは、いかにして多くの組織とメンバーと交流が図れるかが課題でしたが、参加された皆さんのお陰で有意義な交流が持たれたと思います。何よりも鳴門の人々の歓迎は終始快く、心温まるものでした。

演奏会自体は、本番前の1時間で揃えるわけですから、限度があるのは分かっていました。神田慶一指揮者の分かりやすい指導で、演奏は思い切って歌えることが出来ました。あの息づかい。「息が合う」とよく言いますが、まさしく絵に描いたようでしたね。歌う側としては、音程、曲想、発音そういうものを楽譜どおりに勉強しておく必要があると感じました。確かに大勢で歌うことの喜びや感動は隠せませんが、「雑さ」が歌っていて感じられました。満席の客席を見て歌うことは、気持ちがいいですね。

個人的な課題は、ドイツ語の意味を一字一句勉強して歌いたいと思います。また今後の鳴門への参加を計画する上でも、鳴門側への要望や提案もして行こうかと思っています。今回参加された方々が皆さん喜んでいただけたようで、その喜びをメンバーの皆さんに分かち合っていたいただき、来年もっと大勢の方が参加できるようにしたいです。私は勿論参加しますし、鳴門の第九の運営にも、協力していけたらと感じました。裏で大勢の方がお世話してこそこのような催しの実現できます。当初から「合唱を広める」ことに興味がありましたので、今回の演奏会では、大変勉強になりました。「合唱は、素晴らしい」ですね。

## 鳴門オリジナル

公募ソリストによる第一日目は「アリアと第九の祭典」と銘打って企画。テノールの米澤さんを加えた5名が、それぞれの声種を生かしたアリアを歌ってくれました。フィナーレはサプライズで全員で「乾杯の歌」。華やかな声の競演に客席から大きな拍手がわきました。

第30回記念演奏会は公募ソリストによる1日公演ということが決まっています。鳴門の第九ならではの企画を大事に育てていきたいですね。



## 大好評です！ 第九Tシャツ

スカーフ、ネクタイに続くオリジナルグッズのTシャツが完成しました。ベートーヴェンの肖像、うず潮、鳴門市の花ハマボウなど、鳴門色をいっぱい盛り込んだデザインは大好評です。スタッフは演奏会当日にも着用してPRにつとめました。おかげで飛ぶような売れ行き。

デザインを担当してくださった岩月伸子さんは「普段は主婦なので、大変貴重な体験をさせてもらいました。鳴門第九らしく、年も関係なく、でも普段使いできるようにを心がけてデザインしてたので、是非活用してもらえと嬉しいです♪ご購入してくださった方はもちろん、制作の際にご協力頂いた沢山の皆様、ありがとうございました!」と語ってくれました。



「第二回里帰り公演にサポーターとして参加。ドーム教会での第九に感激しました」

「第二回里帰り公演にサポーターとして参加。ドーム教会での第九に感激しました」

## 初めての第九

バス 八木 将明さん

すべてが始まったのは、昨年のこと。妻が第九に初参加したため、私も客席にて初めて第九を鑑賞させていただきました。600人の放つ歌声。その迫力と重厚感に、私はただ圧倒されてしまいました。衝撃をうけている私に、妻は満面の笑みでこう言いました。

「来年は一緒に歌おうね!」

自分が歌うなどんでもないと思っていましたが、妻は、尻込みする私を幾度となくスカウトし続け、私はついに参加することを決意しました。

何もかもが初心者だった私。なれない楽譜、初めて触れるドイツ語。頃安先生をはじめ、大勢の先生方が、ひとつひとつ丁寧に教えてくださいました。私は、いつの間にか歌の魅力にすっかりとりつかれてしまいました。



アンヤさん●発音指導でお世話になったアンヤさん。アルトの一員としていっしょに舞台に立ちました

辻先生●6日の合唱練習をみてくださった副指揮者の辻博之さん。私たちの体と心をほぐし、的確な指示で合唱団を導いてくれました



裏方さん●NPOの会員以外にも、たくさんの方がボランティアで支えています。若い力も大活躍!

お披露目●浅野里江さんが鳴門ゆかりの雨情の詩に曲をつけた「鳴門小唄」。全国の第九仲間にお披露目しました



初めて迎えた本番。必死で指揮者を追い、無我夢中で歌いました。そして、ふと気がつけば、割れんばかりの拍手、「ブラボー!」の歓声!! 私の心には「また来年も」という気持ちが生まれていました。

ご指導くださった先生方、ありがとうございました。何より歌の楽しさを教えていただきました。そしてこのような大人数での演奏会を運営してくださったスタッフの皆さま、大変お世話になりました。人生においてかけがえない素晴らしい思い出となりました。またぜひ来年もよろしく願いいたします。重ね重ねありがとうございました。



八木将明さん・順子さん

# 活動の記録

今年もたくさん歌いました♪

## 県内研修

### ◆平成21年度総会&研修会

2009.7/26 於：鳴門市ドイツ館 71名参加  
吉永紀美子先生・吉永理恵さん(ピアノ)・浜田浩徳さん(ギター)による「マリン・トリオ」の先導で、童心にかえって海の歌を歌いました。その後、高松出身のシャンソン歌手・別府葉子さんによるシャンソンコンサートを開催。「オー・シャンゼリゼ」「愛の讃歌」などおなじみの名曲を中心に、たっぷり1時間シャンソンの世界にひたりました。



▶華やかかつ陰影のあるシャンソンを堪能

### ◆フジグランで「第九を歌おう!!」

2010.2/21 於：フジグラン北島 130名参加  
指揮：山田啓明、ソプラノ：真鍋美恵、アルト：西本鑑子  
テノール：越智慎悟、バリトン：岩田源理、ピアノ：吉成くみ



店長さんの熱意で、ショッピングモールでの演奏会という珍しい試みが実現。

◀特設ステージで4楽章を演奏。買い物客も足を止め、聞き入ってくれました

## コーラス9

### ◆ドイチェス・フェスト in 鳴門に出演

2009.10/25 於：鳴門市ドイツ館  
12月の演奏会に向けてメサイアから2曲を演奏。なかなかスリリングなステージでした(笑)。まだまだ練習が必要ですね!  
指揮：大井美弥子、ピアノ：三村加奈

◆鳴門市芸能祭 2009.11/15 於：鳴門市文化会館  
指揮：大井美弥子、ピアノ：三村加奈

### ◆コーラス9第5回演奏会「クリスマスコンサート」

2009.12/23 於：鳴門市ドイツ館  
ヘンデル没後250年のメモリアルイヤーにちなんで、オラトリオ『メサイア』(抜粋)を演奏。多声的な細かい動きにはじめは苦労しましたが、最後には山田マジックにかかって、胸をはって歌い上げました。「第九による交流事業」の一環として、鳴門市の中高生による合同合唱団も賛助出演。のびやかな美しい歌声で会場を魅了しました。  
指揮：山田啓明、ソプラノ：真鍋美恵、アルト：戸邊祐子、テノール：頃安利秀、バリトン：岩田源理、ピアノ：三村加奈、加藤佳子ほか  
合唱指導：大井美弥子



◀吉永紀美子先生の指導で練習を重ねてきた中高生達。日本の四季の歌を披露してくれました

## 県外研修

◆第25回北海道ボランティアコンサート「999人の第九」に6名が参加 2009.9/27 於：札幌市キタラホール

◆2009「かがわ第九」演奏会に1名が参加 2009.11/3 於：香川県高松市・アルファあなぶきホール

◆むつ下北第九演奏会に1名が参加 2009.12/27 於：青森県むつ市・下北文化会館

◆国技館5千人の第九に4名が参加 2010.2/28 於：東京都・両国国技館

◆第15回「感動の第九」チャリティー演奏会に2名が参加

2010.3/1 於：ストックホルム  
ノーベル賞の授賞式会場として有名な「コンサート・フォーセット・ホール」での第九演奏会に、井原武四郎さん、古城千昭さんが参加。オケは王立アカデミスカ・カペレット、合唱は全日本第九を歌う会と、現地・ウプサラ大学生を加えて総勢55名。「テノールが日本人の6名だけだったので、指揮者の飯守泰次郎さんはオケとの

バランスを取るのに苦労しているようでした。私も第九をテノール6名で歌うのは初体験でした」と井原さん。

▶写真提供：井原武四郎さん



## 今年は大好きなモーツァルト♪ Chorus9

第九の演奏会が近づくと「今年のコーラス9は何を歌うの?」としきりにきかれます。第九終了とともに始まるコーラス9を心待ちにしてくれているのだと、うれしく感じます。今年はモーツァルトのミサ・プレヴィス ハ長調 K.220 通称「雀のミサ」に取り組んでいます。ラテン語もお手のもの…とまではいきませんが(笑)、大井美弥子先生のパワフルな指導のもと、楽しく充実した練習を重ねています。大井先生いわく「手こたえ充分!」

### ♪「コーラス9」第6回演奏会♪

12/23(木)13:30~(予定) 於：鳴門市ドイツ館  
問合せは浅野 ☎088-686-1296



## お知らせ

カメラやレジメや弁当(?)をかかえて走っているうちに、気がつけば2日間の公演が終わっていました。毎年新しい発見や感動がある鳴門の第九。ご紹介できなかった写真はブログ「第九日記」<http://naruto-daiku.at.webry.info/>でご覧下さいね。(広報委員一同)